

アーバンデータチャレンジ2022

和歌山ローカルナレッジ

《様々な活動主体による地域情報化》

地域を知り、共有すれば、心が動く。

UDC和歌山実行委員会

上仲 輝幸

株式会社 紀伊民報 マルチメディア事業部

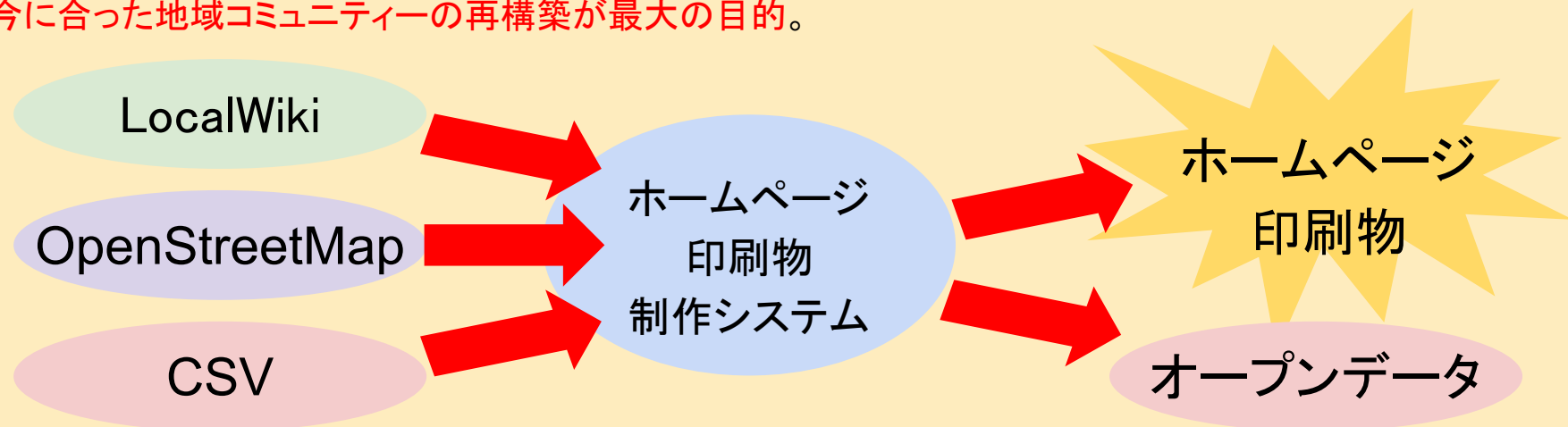
〒646-8660 和歌山県田辺市秋津町100

TEL.0739-26-7171 FAX.0739-81-7181

e-mail:t-kmnk@agara.co.jp

和歌山ローカルナレッジとは

- オープンデータやデータベースを活用した地域学習とデータ作成、和歌山大学がきっかけで広がったLocalWikiやOSMを活用した、マッピングパーティーなどシビックテックの活動。
- 自治体や学校、さまざまな組織や企業、住民などが連携して、地域の歴史や文化、地理、産業、観光資源などを集約し、共有財産とする。
- 紀伊民報のシステム「eメイド」を通してオープンデータの公開、WEBサイトや印刷物で見える化。ソーシャルメディアなどを活用し、情報流通の促進をする。
- さまざまな立場や多世代との交流活動を通じて、情報を共有し、地域課題の解決に取り組み、昔を知り、今に合った地域コミュニティの再構築が最大の目的。



ホームページ更新システム「eメイド」

- eメイドは、ホームページや印刷物を制作する紀伊民報のシステム。
- さまざまAPIのサービスや、CSVからもインプットとアウトプットが可能。

和歌山ローカルナレッジでは、下記を活用して、情報流通の促進を図る

- LocalWikiからAPIで情報を取得し、WEBサイトや印刷物を生成する仕組み
- CSVデータから、WEBサイトを生成する仕組み
- WEBページの生成や、入力した情報をCSVで出力できる情報共有システム

「Kiiminpo OpenData Project」の活用。

CC BYライセンス
(二次利用、再配布が自由)



WEBサイト

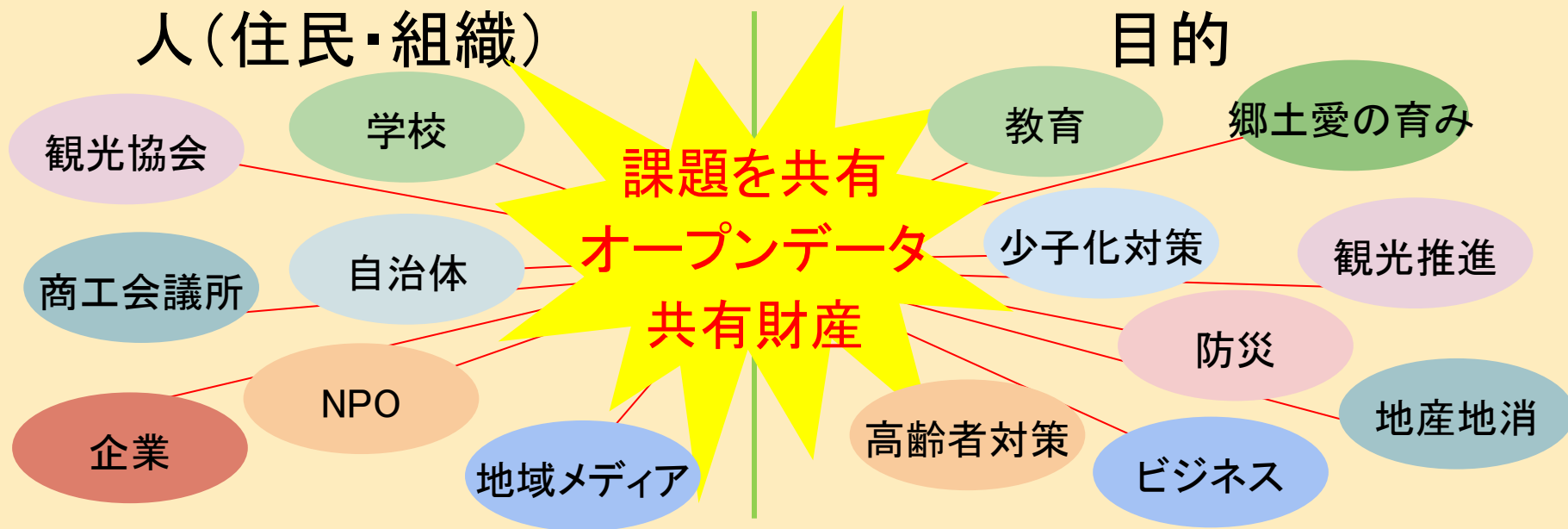


印刷物(PDF)

「和歌山ローカルナレッジ」の目的

地域課題の解決という共通の目的があっても、それぞれの状況や立場によって、

目的は異なる。



みんなで取り組みオープンデータにすることで、それぞれの目的を達成

オープンデータを活用した防災学習

【活動内容】

田辺市立秋津川小学校は、和歌山県がオープンデータとして公開している「和歌山県避難先情報一覧」を活用した防災学習を実施。校区内の避難先をデータで確認し、現地調査を実施。学習成果を紀伊民報のウェブサイトで公開。

地震や台風の自然災害は、地域によって災害の種類や危険性が異なり、対策や準備も違ってくる。今回の学習では、実際に避難することを想定して①避難先の印象(広いや狭い、暑そうや寒そうなど)②備蓄品の有無やその種類③オープンデータで公開されている以外に必要な情報がないか、などを児童が現地調査。

学習した内容は、オープンデータと組み合わせたデジタルマップとして紀伊民報のウェブサイトで公開。成果品は、データを活用して地域課題を解決するためのコンテスト「アーバンデータチャレンジ2022」(東京大学空間情報科学研究センターなど主催)に応募作品として提出。

また、保護者や地域の方々を招いて1年間の学習や取り組みを報告する「秋小発表会」で防災情報として共有。



オープンデータを活用した防災学習

【目的】

地域振興に主体的に貢献しようとする態度の育成のため、実際に地域の避難所に行き、自分たちで情報を収集し、オープンデータを活用した防災マップ作成に取り組んだ。地域の人の役に立ちたいという思いをもって、学習したことを発表会で発表、防災マップの配布を行い、学んだことを社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」を高めることを目的とした。



オープンデータを活用した防災学習

【開催日時・授業時間】

2022年10月4日～11月24日、23時間

(内5時間は秋小発表会に向けての発表練習)

【場所】 秋津川小学校と校区内の避難先

【参加者】 児童:13名、職員:8名

【学習内容】

- ・オープンデータについて学習
- ・公開されている情報を元に校区内の避難先を確認する事前学習
- ・校区内の避難先へ現地調査
- ・GIGAスクールとして調べたことをGoogleのスプレッドシートにまとめる
- ・紀伊民報のサイト「あがら学校新聞」に公開
- ・「秋小発表会」で保護者や地域の方々に報告

【主催】 秋津川小学校

【協力】 田辺市防災まちづくり課、秋津川公民館

【学習支援】 紀伊民報

【ホームページ】

<https://www.kiilife.jp/school/akizugawa-es/2022/bosai/>



オープンデータを活用した防災学習



学校は、エクセルまたは
Googleスプレッドシートを
1枚提出するだけで
WEBに公開ができる

秋津川小学校2022防災学習 ☆ @ @

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ 最終編集: 5日前 (紀伊民権さん)

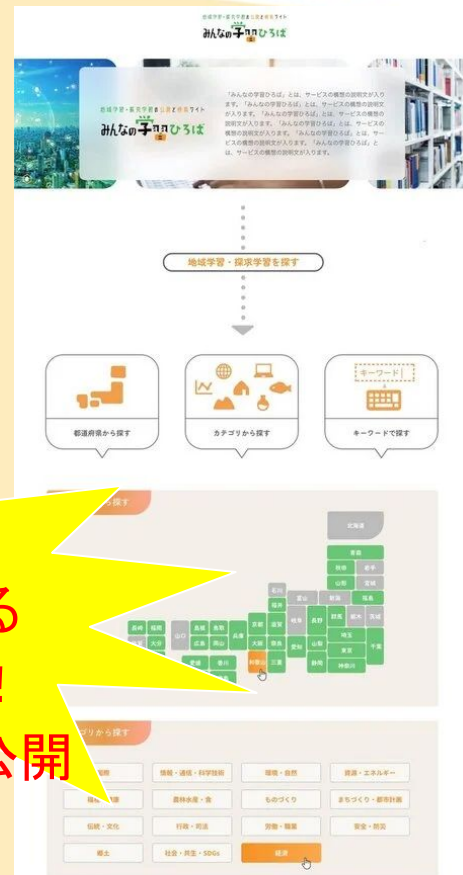
A1	B	C	D	E	F
	遊覧先名称	遊覧先名称	遊覧先名称	自由項目1	自由項目2
1	竹野多目的集会所	タイトル1	実際に遊覧することを想定して、遊覧先として選んでいる k1m1npo.jpg	自由項目1-1	自由項目2-1
2	秋津川公民館	タイトル2	実際に遊覧することを想定して、遊覧先として選んでいる k1m1npo.jpg	自由項目1-2	自由項目2-2
3	紀州備前長門記念公園	タイトル3	実際に遊覧することを想定して、遊覧先として選んでいる k1m1npo.jpg	自由項目1-3	自由項目2-3
4	秋津川小学校	タイトル4	実際に遊覧することを想定して、遊覧先として選んでいる k1m1npo.jpg	自由項目1-4	自由項目2-4
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

+ シート1

学習成果を発表する場「みんなの学習ひろば」

基幹となるデータベースは、生徒がパワーポイントのスライドやワードの文書、ポスター(画像)などにまとめた資料を格納。入力はエクセルやスプレッドシートで行い、学校や学年、クラス単位で大量の情報を一括で管理することができる。情報の修正や削除も、シート上で行い、アップロードするだけなので簡単。入力に当たって都道府県名、年度、学校名、カテゴリなどを付記することで検索を容易する。全国の小中高校で登録が可能。登録された情報はオープンデータで公開するので、誰でもご自由に、ウェブページに埋め込み可能。

**学習の成果は
紀伊民報が管理する
ウェブサイトに登録！
オープンデータとして公開**



和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテック

- 人と情報をつなぐ
- 情報と情報をつなぐ
- 人と人をつなぐ

情報を共有すれば、心が動く

和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテックは、
技術の前に「**つなぐ**」がスタートライン。